

生物多様性の 問題を社会に 根づかせる

聴講無料・要申込
定員 200名 (申込順)

2017年 1月 24日 (火)
18:30 ~ 20:00
受付開始 18:15



京都教育文化センター・ホール

生物多様性は、種の絶滅や外来種などの問題だけではなく、人間社会にもたらす恵み(生態系サービス)を賢く利用することが重要な問題になっています。

2010年に名古屋で生物多様性条約の第10回締約国会議が開催されて以来、国内外で生物多様性の考え方を社会に根づかせる(主流化する)さまざまな動きが急速に進みました。たとえば、生物多様性や生態系サービスの経済評価が世界各地で行われるようになり、その保全コストを負担する必要が議論されるようになってきました。一方、地方自治体が生物多様性地域戦略を策定したり、地域での保全を促進したりするための活動も広がっています。企業活動などにおいても、生物多様性に対する配慮の有無を企業評価として重視しようとする動きが進んでいます。

こうした最近の動向とこれからの生物多様性問題を考えてみましょう。

なかしずか とおる
講師：中静 透
地球研 特任教授
・プログラムディレクター

おう としろう
聞き手：王 智弘
地球研 プロジェクト研究員



お申込み

※配信用に
ビデオ撮影を行ないます

聴講希望の方は、開催日、お名前、連絡先を記入のうえ、
メール・電話・FAXにて右記までお申込みください。

総合地球環境学研究所 広報室

TEL. 075-707-2128

FAX. 075-707-2106

E-mail. shimin-seminar@chikyu.ac.jp

【主催】



大学共同利用機関法人 人間文化研究機構
総合地球環境学研究所
Research Institute for Humanity and Nature
〒603-8047 京都市北区上賀茂本山457番地4
http://www.chikyu.ac.jp

【後援】

京都府

会場 京都教育文化センター

〒606-8397
京都市左京区聖護院川原町 4-13
TEL.075-771-4221

京阪電車「神宮丸太町駅」5番出口より徒歩3分
市バス 206 系統「熊野神社前」より徒歩5分
ご来場の際は公共交通機関をご利用ください。

